

## 令和8年度 岩手県立水沢商業高等学校経営計画

校長：多田 拓章

1	校訓・教育目標	<p>校訓「明 浄 直」</p> <p>教育目標 (1)豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る人間を育成する                  (2)志を高く堅持し、たゆまぬ向上心を持って努力する強固な意志と旺盛な意欲を養う                  (3)広い視野に立って物事を考え、礼節を重んじる態度を養う                  (4)勤労を貴び、協調と奉仕の精神を養う</p>		
2	スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>全学科共通：前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力、総合生活力、人生設計力</p> <p>商 業 科：販売経営能力</p> <p>会計ビジネス科：経営分析能力</p> <p>情報システム科：情報活用能力</p>	
		(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>全学科共通：地域と連携した体験的、実践的な学びの推進</p> <p>商業科：マーケティングや経済のスペシャリストの育成（日商リテールマーケティング検定に挑戦）</p> <p>会計ビジネス科：会計のスペシャリストの育成（日商簿記検定に挑戦）</p> <p>情報システム科：情報のスペシャリストの育成（基本情報技術者試験に挑戦）</p>	
		(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の心に伝わる明るいあいさつができる生徒</li> <li>・身だしなみや言葉遣いなどビジネスマナーを身に付けようとする生徒</li> <li>・何事にも目標を持って失敗を恐れず挑戦する生徒</li> <li>・地域を愛し、地域の発展に貢献しようとする生徒</li> </ul>	
3	魅力化協働パートナー	<p>奥州市立水沢中学校、奥州市立水沢図書館、コープアテルイ、株式会社デジアイズ、株式会社サンライフ、奥州エフエム放送株式会社、水沢放課後児童クラブ</p>		
4	目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
			ア 自ら学ぶ力の養成と基礎学力の定着を図る	・家庭学習に昨年度よりも積極的に取り組んだ生徒の割合【65%以上】
			イ キャリア教育の充実と生徒の希望進路の実現を図る	・進路希望に応じた指導を丁寧に行っていると答えた生徒の割合【85%以上】
			ウ 地域とともにある魅力ある学校づくりの推進を図る	・自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきか考えている生徒の割合【65%以上】
			エ 基本的生活習慣の確立と学校生活を通じ礼節を備えた人間性を育む	・明るいあいさつに取り組んだ生徒の割合【85%以上】
			オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・人権尊重について、自分なりに意識して取り組んだ生徒の割合【80%以上】
			カ 生徒の人格を尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する	・生徒一人ひとりの個性を尊重し、挑戦する姿勢をサポートしてくれたと答えた生徒の割合【85%以上】
	(2) 取組方針	<p>ア 自ら学ぶ力の養成と基礎学力の定着を図る</p> <p>(ア) 基礎学力を基盤とし、自ら考え、粘り強く実行する能力の育成</p> <p>(イ) ICTを活用した学習課題や家庭学習の推進</p> <p>イ キャリア教育の充実と生徒の希望進路の実現を図る</p> <p>(ア) 生徒の多様な進路希望に対応した、個に応じた進路指導の充実</p> <p>(イ) 地域と連携した商業の学びによる、総合生活力、人生設計力の育成</p>		

(様式1)【高等学校用】

		<p>ウ 地域とともにある魅力ある学校づくりの推進を図る</p> <p>(7) 探究的・体験的な学習の実践等による地域連携の推進</p> <p>(イ) 「いわての復興教育」の推進</p>
		<p>エ 基本的な生活習慣の確立と学校生活を通じ礼節を備えた人間性を育む</p> <p>(7) 明るく爽やかな挨拶の溢れる学校生活の推進</p> <p>(イ) 時間管理について、スマートフォンの使用も含め、教育活動のあらゆる場面で取り組む</p>
		<p>オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる</p> <p>(7) 日常的な観察やアンケート、カウンセリング等を活用した人間関係構築の支援</p> <p>(イ) 早期発見と解消に向けた適切な対処</p>
		<p>カ 生徒の人格を尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する</p> <p>(7) 生徒一人ひとりを大切にする、生徒目線での教育活動の充実</p> <p>(イ) 各種研修会等を通じたコンプライアンス意識の醸成</p>
5	業務量管理・健康確保措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月当たりの時間外在校時間の縮減</li> <li>・ ICT を活用した校務の効率化</li> </ul>